

背景 & 課題

▼日本初の官民一体で推進するブルーカーボンアクションのモデルをつくり、食を通じて海の課題を伝えることで鳥取の豊かな海を取り戻す

- ・温暖化等に伴うムラサキウニ増殖による食害から、藻場消失が進行し、生物多様性、温室効果ガス吸収源が減退している。
- ・大量発生したムラサキウニは身入りが少なく、あまり食べられず、地域に出回っていない。
- ・海の問題で最も注目を集める海洋プラスチック問題に比して、磯焼けの課題は社会的に知る機会が少ない。

2022年度実施内容のまとめ



量的成果（事業の拡がり）

- ① キックオフイベントは小学生、ファミリー層を中心に約600名が参加。県知事も登壇し、テレビ・新聞などの3社で報道された。
- ② 体験イベント（出前授業）を小学生向け1回、高校生向け5回実施し、テレビ・新聞など延べ5回報道された。
- ③ 飲食店連携では20か所、学校給食では1校と連携し、今冬にメニューを展開予定。

質的成果（次なる展開への芽）

- ① キックオフイベントでは「地元の海で起きている磯焼け問題について知らなかった」という声が多く。来場者が海の課題について知るきっかけを作った。
- ② 5月に県知事からPJ始動について記者会見で発表があり、事業開始まもなく複数メディアで報道された。
- ③ 本PJに関心をもった地元JAなどと、ウニの蓄養で使用する野菜・果物残渣の提供面で連携開始。

2022年度
課題点

- ① 鳥取県での野菜・果物残渣等を活用したウニの蓄養技術が途上
- ② ウニの分量が限られている中で、展開しやすく汎用性の高いメニューの開発
- ③ SNS・WEBを活用した本事業の発信・話題化

2023年度
改善点

- ① 蓄養漁業者との勉強会等を通じ、ウニ蓄養技術の向上を図る
- ② 安定したウニの供給が可能となる見込みの中で、より広がりやすいメニューの開発・改良
- ③ ノウハウを有する企業と連携した効果的な発信

報告資料



知事記者会見【5月】
県知事からPJ始動について記者会見で発表があり、事業開始まもなく複数メディアで報道された。



蓄養ウニ【5月～】
急速冷凍を試行。
ミヨバン不使用のため素材本来の風味が出ている。



メニュー開発検討会【5,6,10月】
6月の検討会では和洋様々なアイデアが出された
TV局4社が取材に来訪



小学生・高校生向けイベント【5～9月】
鳥取の海の課題についての学びの提供を行った



ごちそうfes出店【10/8,9】
鳥取の地元料理人と共にウニのライスボールコロケで出店



飲食店・学校給食【1月または2月予定】
開発したメニューを展開予定

「鳥取ウニライスボールコロッケ～おいしく食べて藻場再生！～」(2個セット 500円)を、れんが亭 友山様に監修、製作、販売いただくとともに、ムラサキウニのパネル展示により鳥取県の藻場の現状、課題、取組みについてPR。

【販売状況】

初日：106食、2日目(13時で完売)：79食 ⇒ 計185食



来場者・購入者からは、味自体を評価する声だけでなく、磯焼け問題やウニの利活用に関心を持ったコメントが多かった。

藻場におけるウニの食害の掲示に興味を示す方が思いの外多く、説明を熱心に聞いて下さる方も。

磯焼け問題にかかる周知イベント（鳥取県立青谷高校向けシリーズ）の概要

目的：ムラサキウニによる磯焼け問題を切り口に地元の海の環境に目を向け、自ら行動を起こし、周知する活動を支援。

対象：鳥取県立青谷高等学校（普通科3年生を主体に全学年）

今後：3年生を主体とした今年度の取り組みを「青谷学」として発展的に後輩に引き継ぐ。
本プロジェクトとの連携を継続。

対象学年	日付	活動内容	報道有無
3年生	5/24	講義（ムラサキウニによる地元青谷町海域の藻場の現状と対策）	○
	6/28	作戦会議（今後の行動計画について）	-
	7/12	ムラサキウニ大量発生現場視察（スノーケリングにて）	○
	9/9	漁港での学習イベント（2年生への学習の勧めなど）	○
	9/10	キックオフイベントでのアピール（知事との活動宣言など）	○
	10/4	ムラサキウニ養殖試験開始（校内にて）	-
	12/6	【予定】試験結果（飼育方法・餌適性・味など）の発表	未
2年生	8/31	講義（磯焼け問題）・ウニ料理試作	○
1年生	9/9	漁港での学習イベント（漁業者聞き取り・ウニ試食など）	○

とっとりうの花ウニまつり（ごちそうweek）

開発したウニメニューを市内17店舗で「とっとりうの花ウニまつり」として2/27-3/3の期間で展開。メニュー名を「うの花ウニの〇〇」に統一し、一体感を醸成した。
出食数等は計約500食。アンケートには、藻場・磯焼けについて初めて知り、興味を持ったという声や、プロジェクトを応援する声が多く寄せられた。

揚げた素麺を周りにトッピングすることで、見た目にもウニらしさを表現したメニュー。



鳥取名産のねばりっこ（長芋）と混ぜ合わせ、地元愛溢れる一品に。



メディア露出<TV・新聞>

◇ TV : 16回、紙面14回

エリア	日付	媒体名	露出内容
専門誌	5/11	農業協同組合新聞	事業開始発表
"	"	アグリサーチ	"
"	5/13	水産経済新聞	"
鳥取県	5/26	日本海新聞	青谷高校向けイベント
中国地方	6/28	NHK	メニュー開発検討会
山陰地方	"	さんいん中央TV	"
"	"	山陰放送	"
"	6/29	日本海TV	"
中国地方	7/8	NHK	泊小学校向けイベント
鳥取県	7/8	日本海新聞	泊小学校向けイベント
全国	8/2	朝日新聞	取組みのまとめ記事
山陰地方	9/1	日本海TV	青谷高校向けイベント
鳥取県	9/1	日本海新聞	青谷高校向けイベント
鳥取県	9/14	地元ケーブルTV	キックオフイベント
全国	9/15	産経新聞	取組みのまとめ記事 (共同通信配信記事)
"	9/17	日本経済新聞	"
京都府	9/19	京都新聞	"
全国	"	毎日新聞	"
中国地方	10/26	NHK	メニュー開発検討会
山陰地方	"	さんいん中央TV	"
鳥取県	10/27	日本海新聞	メニュー開発検討会
中国地方	12/15	NHK	青谷高校向けイベント
"	12/16	"	J Aよりウニ餌キャツ提供
鳥取県	12/17	日本海新聞	"

エリア	日付	媒体名	露出内容
鳥取県	2/21	日本海新聞	ウニまつり
山陰地方	2/27	さんいん中央TV	"
中国地方	"	NHK	泊小学校向けイベント
鳥取県	"	日本海新聞	"
全国		テレ朝/ABEMA	ウニまつり+泊小学校向けイベント
専門誌	3月号	日経ESG	奥理事長が本PJ紹介



メディア露出<WEB転載>

◇WEB転載 計38回

媒体	露出内容
BEST TIMES (ベストタイムズ)	メニュー開発検討会
RBBTODAY	ウニ授業プログラム
Techable (テッカブル)	〃
おたくま経済新聞	〃
STRAIGHT PRESS (ストレートプレス)	〃
ニコニコニュース	〃
ジョルダンニュース!	〃
@DIME (アットダイム)	〃
ORICON NEWS	〃
BIGLOBEニュース	〃
JBpress (日本ビジネスプレス)	〃
BtoBプラットフォーム	〃
ウレびあ総研	〃
RBBTODAY	〃
CNET JAPAN	〃
マピオンニュース	メニュー開発、ウニ授業ともに掲載
SEOTOOLS	〃
エキサイトニュース	〃
@niftyビジネス	〃
All About NEWS	〃
とれまがニュース	〃
財経新聞	〃
時事ドットコム	〃
Fresh eye ニュース	〃
Infoseekニュース	〃
NewsCafe	〃



ORICON NEWS



JIJI.COM

財経
新聞



話題やニュースを分かりやすく、読みやすく。
おたくま 経済新聞

All About NEWS



JBpress

excite
ニュース

Rakuten
Infoseek News

イベント参加者からの声

1 高校生向けイベント



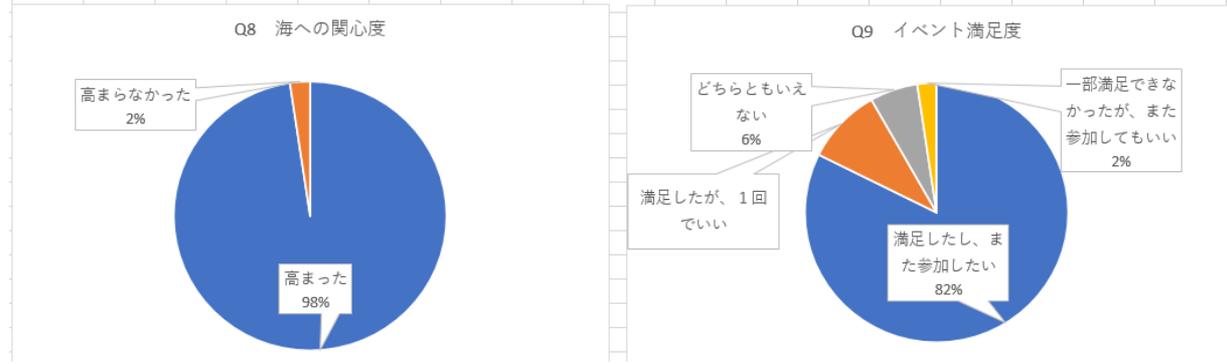
2 小学生向けイベント



3 キックオフイベントアンケート ⇒高い満足度、海への関心向上

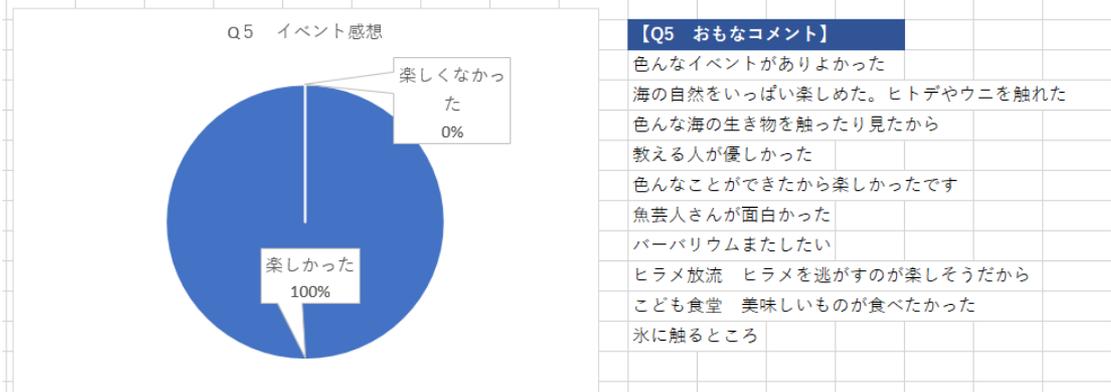
おとな用 海プロアンケート Q8~11

- 海への関心度はほぼ全員が「高まった」と回答。イベントの目的が達成されていることを確認
- 満足度も8割超で満足と回答（満足以外の回答者は県外からの参加者が大半を占めている）



こども用 海プロアンケート Q5~6

- イベント感想は100%が「楽しかった」の回答であった
- コメントもポジティブな内容が大半を占めた



Q6 今日のイベントを体験して思ったことや感じたことを教えてください（おもなコメント）

- 自分でも海を守ろうと思いました。SDGsも守りたいです
- 海を身近に感じられた
- 友達にこんなことがあったと知らせたい
- ウニを初めて触ってみてあんまりトゲトゲしていなかったからびっくりしました
- 魚の名前でいろんなことができるんだなと思いました
- 海を大切にしたいです
- 海がきれいになったらいいなと思った